

産業廃棄物処理計画書	
令和6年6月4日	
岐阜県知事 殿	
提出者	
住 所 岐阜県中津川市加子母1005番地	
氏 名 株式会社 中島工務店	
代表取締役 中島紀子	
電話番号 0573-79-3131	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 中島工務店
事業場の所在地	岐阜県中津川市加子母1005番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D06：総合工事業
② 事業の規模	完成工事6,703百万円
③ 従業員数	232人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①に記載。



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div>別紙②に記載</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	排 出 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 梱包材の簡素化。 工法の見直しと簡素化。 工場での正確な断裁による端材発生の抑制。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	排 出 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 代替型枠の使用。 工法の見直しと簡素化。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各作業所で可能な限り分別する。 現場単位で、分別に対する指導を徹底する。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続的に、現在の活動を根付かせる。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） コンクリートがら、アスコンがらの大部分を自社工場にて再生している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 現在の工程を継続する。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） コンクリートがら、アスコンがらの大部分を自社工場にて再生している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 現在の工程を継続する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

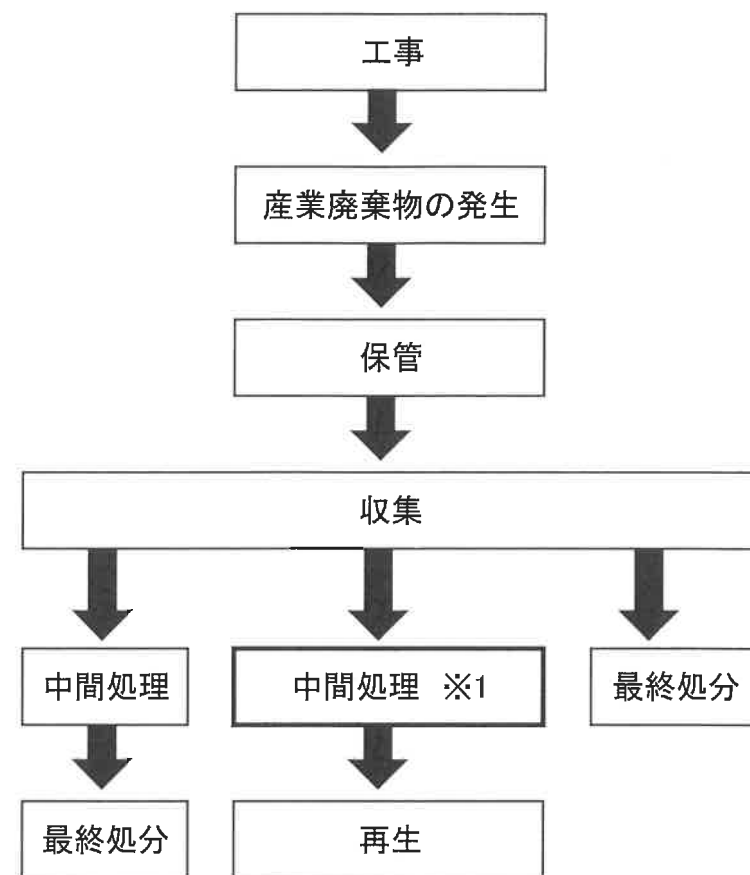
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処 理 委 託 量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 委託業者の現地確認。 委託業者の調査、選定。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙③に記載	—
	全 処 理 委 託 量	— t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 への処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェストの検討。 優良認定処理業者の検討。 パトロールの実施。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙①】 産業廃棄物の一連の処理の工程



※1 コンクリートがら、アスコンがらに関しては社内のリサイクル工場にて中間処理します

【別紙②】産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

本社	環境担当役員	環境方針の承認 環境関連法規等の順守に関する指示 社員・協力会社への教育・啓発
	環境担当者	環境関連情報の伝達 産業廃棄物に係る諸官庁との協議・届け出 環境関連情報の取りまとめ その他各種必要な事項

工事事務所	工事事務所所長	環境安全品質計画書の策定
	建設副産物管理責任者	建設廃棄物に係る諸官庁との協議・届け出 協力会社の監督・指導 産業廃棄物分別保管処理状況の監理 産業廃棄物処理委託契約の締結 各種環境関連の報告書作成 マニフェストの最終確認と環境担当者への提出 汚染土壌の取扱に係る諸官庁との協議・届出 その他各種必要な事項

リサイクルプラント	リサイクル担当者	搬入物の計量 マニフェストの作成 調査書類作成
-----------	----------	-------------------------------

【別紙③】産業廃棄物処理計画書

					自ら行う中間処理				処理の委託											
産業廃棄物の種類	総排出量		自ら再生利用を行った (行う)産業廃棄物の量		自ら熱回収を行った (行う)産業廃棄物の量		自ら中間処理により 減量した(する) 産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への 処理委託量		再生利用業者への 処理委託量		認定熱回収業者への 処理委託量		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	
	自ら直接再利用した量等 を含めた事業場における 産業廃棄物の合計量。		自ら直接再利用した量と 自ら中間処理を行った後 に再利用する量。						自ら直接埋立・海洋投入 処分する量と自ら中間処 理した後に自ら埋立・海 洋投入処分する量。		自社内で処理を行わず 直接委託した量と自ら中 間処理した処分量のうち 処理業者に委託して処 理する量。				中間処理後有効利用さ れている場合の委託量 (委託先が別の業者に売 却される場合を含む)。				認定熱回収施設設置者 以外の熱回収を行ってい る処理業者への焼却処 理委託料。	
	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)	現状(R5)	計画(R6)
コンクリートがら	2,985.20	2,835	1,497.46	1,422	0.00	0	1,497.46	1,422	0.00	0	1,487.74	1,413	0.00	0	1,487.74	1,413	0.00	0	0.00	0
アスコンがら	1,891.82	1,797	1,732.55	1,645	0.00	0	1,732.55	1,645	0.00	0	159.27	151	0.00	0	159.27	151	0.00	0	0.00	0
その他がれき類	101.14	96	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	101.14	96	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
ガラス・磁器くず	70.12	66	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	70.12	66	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
廃プラスチック類	38.85	36	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	38.85	36	0.00	0	38.85	36	0.00	0	0.00	0
金属くず	68.76	65	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	68.76	65	0.00	0	68.76	65	0.00	0	0.00	0
混合(安定型のみ)	45.11	42	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	45.11	42	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
石綿含有産業廃棄物	1.65	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1.65	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
建設汚泥	1.65	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	1.65	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
紙くず	0.04	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.04	0	0.00	0	0.04	0	0.00	0	0.00	0
木くず	371.51	352	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	371.51	352	0.00	0	371.51	352	0.00	0	0.00	0
繊維くず	2.16	2	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	2.16	2	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
廃石書ボード	108.12	102	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	108.12	102	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
混合(管理型含む)	131.59	125	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	131.59	125	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
水銀使用製品産業廃棄物	0.04	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.04	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
廃石綿等	4.63	4	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	4.63	4	0.52	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
合計	5,822.39	5,524	3,230.01	3,067	0.00	0	3,230.01	3,067	0.00	0	2,592.38	2,456	0.52	0	2,126.17	2,017	0.00	0	0.00	0